

第 2 次ちば文化振興計画について  
(令和 2 年度実施報告 (総括))

I 「第 2 次ちば文化振興計画」全体の指標

指標	平成 26 年度 (現状)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度 (目標)
この 1 年間に文化 芸術にふれた県民 の割合	65.4%	63.4%	59.1%	59.9%	67.4%	69.5% (70.0%)

II 「施策の柱」ごとの達成状況

1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり

～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

県の取組						
<p>○ 「千葉・県民芸術祭」では、県民・関係団体・市町村などと連携して 15 事業を実施した。また、「さわやかちば県民プラザ事業」では、コンサートや東葛飾文化祭等を実施し、県民による自主的な文化芸術活動への参加の機会を提供した。</p> <p>○ 「県民芸術劇場公演」を県内で 10 公演行った。</p> <p>○ 美術館や博物館では千葉県の歴史・美術・自然に関する展覧会を行い、文化芸術にふれ親しめる環境をつくった。</p> <p>○ 特別支援学校にプロのオーケストラを派遣する「特別支援学校巡回コンサート」は 4 校で実施した。</p>						
成果指標	平成 22 年度 (現状)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度 (目標)
文化会館・ 美術館・博物 館の入館者数	約 3,300,000 人	3,499,748 人	4,048,532 人	4,266,706 人	3,360,688 人	1,823,134 人 (増加を 目指す)
<p>&lt;成果指標&gt; 学校における文化芸術活動の取組事例 (【参考】市町村文化振興施策等に関する調査)</p>						
<p>○ 障害のある方が文化芸術にふれる機会を創出することを主な目的とした事業については、新型コロナウイルスにより多数の事業が中止、延期された。</p> <p>○ 外国人の方が本県の文化芸術にふれる機会を創出すること、又は国際交流を主な目的とした事業については、新型コロナウイルスにより多数の事業が中止、延期された。</p> <p>○ 子ども・若者が文化芸術にふれる機会を創出することを主な目的とした事業については、感染症対策を行い実施された事業もあったが、多数の事業が中止された。</p>						

## 2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり ～あらゆる地域で地域文化が息づくために～

県の取組						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「文化財保存整備助成事業」として、山車の修復、行屋の修理、衣装の新調などの計19件の国指定・県指定文化財に助成することにより、無形民俗文化財の保存と継承に資することができた。</li> <li>○ 県内の民俗芸能を紹介する「房総の郷土芸能2020」の開催については新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期した。房総のむらにおける伝統文化等の体験事業は実施した。</li> <li>○ 小・中学校へ能楽や雅楽、三曲の実演家を派遣し体験を通しながら伝統文化を学ぶ「ふれあい体験事業」（4校）を行った。</li> <li>○ 地域文化の活用の取組としては、文化資源の情報をホームページで掲載し、映画等のロケーション誘致により地域の知名度向上や観客の誘致等を図る「千葉県フィルムコミッション運営事業」を実施した。</li> </ul>						
成果指標	平成26年度 (現状)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標)
県立文化会館・美術館・博物館における伝統文化体験事業の参加者数	約3,500人	4,473人	6,001人	7,374人	7,862人	1,327人 (増加を目指す)
<p>&lt;成果指標&gt;市町村等における文化資源を活用した取組事例 (【参考】市町村文化振興施策等に関する調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルスの感染拡大により中止等が多数発生した。</li> <li>○ 文化財を会場としたコンサート(千葉県市「洋館で聞く海辺の音楽」)</li> <li>○ 文化財のガイド(市川市「文化の街かど回遊マップ」、流山市観光ポータルサイト・アプリ「ココシル流山本町江戸回廊の運営、一宮町「文化財マップ改訂版」、いすみ市「文化財マップ」)</li> <li>○ 文化財の一般公開(富津市「第二海堡上陸ツアー」)</li> </ul>						

3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出  
 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～

県の取組						
<p>○ 例年は6月15日の県民の日を中心に、千葉県民としての意識を醸成し、県民が千葉県に対する愛着や誇りを一層感じられるよう、県全体の魅力を網羅したイベントとして「県民の日中央行事」(ワクワクフェスタ)・地域行事の開催や、県内外の賛同行事の広報を実施してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。</p> <p>○ 宮崎県「第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に開催延期となった。(当初予定:令和2年10月17日～12月6日→変更後:令和3年7月3日～10月17日。9月7日現在、一部のイベントを中止・休止・延期している。)</p> <p>○ 「若者の文化芸術活動育成支援事業」では、若者が主体となり参加、実施する発表・公開事業、参加体験事業を対象として、4団体に補助金を交付した。</p>						
成果指標	現状 (過去5 年間の平均)	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和2 年度 (目標)
「ちば文化交流ボックス」 へのアクセス件数	約20万件	579,268 件	514,130 件	731,532 件	796,000 件	649,219 件 (増加を 目指す)
<成果指標>多様な文化や創造活動への市町村等の取組事例 (【参考】市町村文化振興施策等に関する調査)						
<p>○ 新型コロナウイルスの感染拡大により中止、延期、規模縮小が多数発生した。</p> <p>○ 千葉市「ちばまちなかステージ」(新型コロナウイルスのため無観客スタジオ収録によるYouTube配信)</p> <p>○ 柏市「旧吉田家住宅土間コンサート」(動画配信)</p> <p>○ 旭市「第16回スプリングコンサート」(感染症対策を行い開催)</p> <p>○ 多古町「いきいきTAKO2020文化祭」(感染拡大のため展示部門のみ)</p>						

#### 4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築 ～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

県の取組						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県と市町村、文化施設の運営者等を対象とする「公立文化施設担当者研修会」は新型コロナウイルス感染拡大により中止した。</li> <li>○ 文化活動を通してのボランティアを企画している者と、ボランティア活動の受け入れを希望する者とを結びつける手伝いなど、文化芸術活動を支える「文化活動ボランティアネットワーク事業」については、登録件数が52件となり10件の依頼があった。</li> <li>○ 県内の文化団体の文化芸術活動を活性化させるために、公演や展覧会等の行事に対し、知事又は教育長の名義により延べ74件（令和元年度：157件）の名義後援を行った。</li> </ul>						
成果指標	平成26年度 (現状)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標)
地域との連携等を目的とした意見交換の場を設けている文化会館の割合	33.3%	30.2%	30.6%	45.0%	49.2%	24.6% (50.0%)
<p>&lt;成果指標&gt;福祉・観光・産業分野等での文化芸術の活用事例 (施策の展開1、2参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域文化を積極的に活用する事業の実施が予定されていた一方、新型コロナウイルスの影響により中止等となった事業が多数発生した。</li> <li>○ 地域との連携等を目的とした意見交換の場を設けている文化会館の割合は一定数にとどまっていることから、他地域の事例を紹介することにより、新たな取組につながるよう、情報提供等に努めていく。</li> </ul>						

## 5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～

県の取組					
<p>○ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成のため、公認文化オリンピックアードに認証された事業として、「千葉・県民音楽祭（県民参加型コンサート）」、「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」及び「ちばアート祭」の実施を予定した。</p> <p>○ 新型コロナウイルスの影響により「令和2年度千葉・県民音楽祭」東京2020大会の延期及び新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止した。（当初出演予定：千葉交響楽団・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体、6月21日、千葉県文化会館）</p> <p>○ 「ちばアート祭」については、「ちば文化資産」を会場や作品のテーマとし、作品を県民から募集し県立美術館等に展示する絵画・写真公募展や、アートワークショップについては実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、屋外展示は中止した。（応募点数801点、来場者数延べ7,907人）</p> <p>○ オリンピック・パラリンピックに向けた機運を醸成するため、beyond2020（※）プログラムの認証主体となり令和2年度は51件の認証を行った。</p> <p>※ 2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、共生社会や国際化に繋がるレガシー創出に資する取組を認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開していく文化プログラムの取組。</p>					
成果指標	平成28年度 (現状)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標)
千葉県での「公認文化オリンピックアード」に参加したアーティストの人数（累計）	380人	18,525人	36,341人	53,600人	54,302人 (増加を目指す)
<p>&lt;成果指標&gt;千葉県内での文化プログラムの参加者からの「ちば文化」の魅力についての意見</p> <p>○令和2年度「ちばアート祭」参加者アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知らない千葉がありました。</li> <li>・ 千葉に住んでいますが、自分の行っていない、知らない場所が魅力的なことを知りました。今度行ってみたいです。</li> <li>・ とても良かった。たくさんの人に見てもらいたいですね。こんな時だからこそ！</li> <li>・ 小さな子どもから大人までの作品で楽しく見せて頂きました。千葉県の知らない地域もあり、行ってみたいと思います。</li> <li>・ いろいろな作品があり、行きたくなりました。オンラインで見ます。</li> <li>・ 作品制作のきっかけをいただきました。ありがとうございました。</li> <li>・ あまり現地を知らないので写真により興味がわいた。 等</li> </ul>					